2026.11.5
vol.167

うちなだ議会だより

～議会ガイドブック～







あの日、
僕らは
無敵だった。











Topics

９月会議　見えてきた復興公営住宅
一般質問
街かどインタビュー
金沢医科大学プロギング同好会

表紙写真：内灘中学校体育祭
懸命に挑む姿にただただ感動 !!

石川県内灘町議会

1分でわかる!

9月の議会！
見えてきた復興公営住宅

令和８年９月会議は９月１日から15日までの15日間、開催された。
令和８年度補正予算４件のほか、条例の改正２件、契約案件７件、人事案件１件など計25議案を審議し、すべて原案のとおり可決、同意、認定、選任した。

請負契約の締結

工 事 名：鶴ケ丘地区復興公営住宅建設工事
契約金額：26億6,750万円
相 手 方：株式会社　豊蔵組
工　　期：令和9年11月30日

財産の取得

取得財産：機材車（指揮）　1台
契約金額：1,573万円
相 手 方：株式会社　本田商会
納　　期：令和9年12月24日



鶴ケ丘北公民館の
役員の皆様

まちの声

復興公営住宅が、ここ鶴ケ丘5丁目に建設されることは復旧･復興が進むことと喜んでいます。
若者の少ない地区なので、民生委員の数や除雪の対応など、入居される方々の参加を楽しみにしています。

議会の視点

能登半島地震から、2年10ヶ月が過ぎた。復興公営住宅が建設されることは、町の復旧･復興に繋がることだが、諸手を挙げて喜んでばかりはいられない。
気持ちを引き締め、しっかりと住民の不安に耳を傾け、その思いを行政に伝え、少しでも不安解消に寄与することが大切だ。

9月会議　審議議案と採決状況　意見が分かれたもののみ

議案番号	議案名＼議員名	議決結果	福島誠一	中村聡	土屋克之	西尾雄次	磯貝幸博	七田満男	川口正己	恩道正博	北川悦子	夷藤満	清水文雄	中川達	南守雄
認定第1号	令和7年度内灘町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	欠	○
認定第2号	令和7年度内灘町新エネルギー事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	欠	○
認定第3号	令和7年度内灘町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	欠	○
認定第4号	令和7年度内灘町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	欠	○
認定第5号	令和7年度内灘町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	欠	○
認定第6号	令和7年度内灘町水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	欠	○
議案第7号	令和7年度内灘町下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	欠	○

○は賛成、×は反対、棄は議場に不在、欠は欠席、除は除斥、－は採決に加わらない

訃報　議会運営委員長 中川（なかがわ） 達（すすむ）議員 逝去



ご遺族より提供

中川　達議員（74歳）が令和8年9月16日にご逝去されました。

故中川氏は平成3年に初当選、令和8年まで9期・35年4カ月余り務められ、その間、議長、副議長、議会運営委員長などの要職を歴任され、内灘町の発展と町民の福祉向上に全身全霊を捧げてこられました。

その大きな功績の一つである内灘大橋のライトアップ復旧は、故人が自ら国へと足を運び、熱意をもって要望を重ね、ついに決定へと導いた、故人の魂がこもった事業でした。

これからの内灘町を共に歩んでいけないことが悔やまれてなりませんが、故人の遺志をしっかりと受け継ぎ、全員で力を合わせ、今後の町政発展に全力を尽くす所存です。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

内灘町議会議員一同







決算特別委員会

9月9日～11日

出産祝金を第１子からの支給へ拡充せよ

◎磯貝　幸博／○川口　正己／夷藤　満／北川　悦子／恩道　正博／西尾　雄次

令和７年度決算に対する指摘事項

1. 防災士の役割分担と組織体制の構築について

町内には現在、防災士の資格取得者が200名近くいるが、先の地震においては組織的に役割を果たす仕組みが十分に機能していなかった。

能登半島地震の反省を踏まえ、防災士が各町会の一員として機能するよう、また横断的な組織として動けるよう、平時から役割分担や仕組みづくりに取り組むこと。

2. 出産祝金支給事業の見直しについて

本町の合計特殊出生率が1を下回る中、現在の第3子以降を対象とした出産祝金では対象者が限定的となっている。

年間の出生数も考慮し、第1子から祝金を支給できるよう制度の見直しを検討すること。

3. 未着工の道路計画及び未利用地の見直しについて

長期間着工に至っていない道路計画について、状況の変化を踏まえ計画の見直しを図ること。

また、土地開発公社が先行取得した未利用地について、金利上昇による町の負担増大を避けるため、長期間利用されていない用地の活用を含めた方策を早急に検討すること。

4. 子育て支援策の積極的なPRについて

全国でも実施自治体が14%程度にとどまる「5歳児健診」を本町が実施していることは、誇るべき大きな特色である。

他自治体との差別化を図るため、本町独自の子育て支援策として積極的なPR活動を推進すること。

5. 空き地対策の徹底について

管理が行き届かず雑草が繁茂している空き地は、景観上や防犯上の観点から周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼしている。

所有者に対して適正管理を強く申し入れるなど、積極的な空き地対策を徹底し状況を解消すること。

6. 上下水道料金の見直しについて

上下水道事業については、近年赤字決算となっており、特に下水道事業会計では赤字分の一部を一般会計から補填している。

令和5年度に、料金の改定のために協議会を設置する準備を進めていたところ、能登半島地震に遭遇し、その動きが中断している。

持続可能な公営企業の運営のため、また、一般会計の健全化を図るためにも、上下水道料金の改定がやむを得ないことは明らかであり、できるだけ早く協議会を設置し、料金の見直しを含め、検討をすること。



おししさん

令和７年度内灘町決算の概要は、10月発行の「広報うちなだNo.765」をご覧ください。

9月27日　内灘町総合防災訓練

令和８年９月27日（日）に内灘町総合防災訓練が白帆台小学校で実施されました。

議会では内灘町議会業務継続計画（議会 BCP）に基づき、災害時の安否確認・情報収集・議会災害対策会議設置等の訓練を行いました。

令和8年
9月28日～9月30日

姉妹都市 北海道羽幌町議会親善訪問団来町

昭和55年10月の姉妹都市提携以降、交流を重ねてきた羽幌町議会の皆さんが来町されました。





村田（むらた）　定人（さだひと）
羽幌町議会議長

歴史民俗資料館 風と砂の館、道の駅内灘サンセットパークなどを視察しました。

総務産業建設常任委員会

非常用発電機
災害時の電力供給量は？

問 9月 **現在、役場庁舎に設置されている非常用発電機だが、停電時の庁舎内での使用可能な電力容量はどのくらいか。**

答 庁舎の通常使用時の電力を100％とした場合、約30％の電力をまかなうことができる。

しかし、供給できる箇所は、非常用電灯設備等に限られ、庁舎内の空調設備を運転するための十分な電力供給はできない。



庁舎地下にある自家発電装置

◎恩道　正博／○川口　正己／中川　達／北川　悦子／土屋　克之／福島　誠一

◎…委員長　○…副委員長

文教福祉常任委員会

地域再生の重要施設
北部保育所・西荒屋公民館の完成を急げ！

問 9月 **北部保育所の完成時期が遅れた理由は。**

答 西荒屋公民館周辺一帯整備工事の（敷地）粗造成が、盛土規制法の許可に時間を要し、北部保育所再建工事の着工が当初より遅れたためだ。

問 **開所はいつを予定しているのか。**

答 西荒屋公民館と併せ、令和9年8月を予定している。



北部保育所と西荒屋公民館の建設予定地

◎西尾　雄次／○中村　聡／南　守雄／清水　文雄／夷藤　満／磯貝　幸博

◎…委員長　○…副委員長

9月3日 一般質問

町政を問う

8人が登壇

会議録

YouTube

詳細はホームページ、YouTubeでご覧ください。

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の問題点・疑問点・課題などを執行機関に問うものです。

◎：今号で掲載している質問

福島　誠一 …… 6
◎特殊詐欺の被害から住民を守ろう
◎町のいいところ　積極的に発信を

夷藤　　満 …… 6
◎老朽化が進む公共施設の今後のあり方について
　役場庁舎内への証明写真機（自動撮影機）の設置について
◎町内の井戸を活用について

北川　悦子 …… 7
　介護窓口の一本化と終活登録制のすすめを
◎復興公営住宅を快適に
　道路段差解消・ブロック等に助成を

磯貝　幸博 …… 7
　町民体育祭の再開について
◎公民館の建替えについて

西尾　雄次 …… 8
◎森本・富樫断層地震の対策を問う
◎災害用備蓄物資の充実を図れ

中村　　聡 …… 8
◎避難場所、避難所となる施設の防災備蓄装備品の数量把握とさらなる拡充について
◎災害用手押しポンプについて

恩道　正博 …… 9
◎地域防災センターのホール空調設備設置に向けた進捗状況について
◎救急体制の現状と今後の対策について

清水　文雄 …… 9
◎役場窓口の受付時間の短縮について
◎各種選挙の投票率向上と低投票率地区への対策について
◎町公共施設へのウォーターサーバーの設置について

題字　上野雅子さん





プロフィール



名前：かめさん

15歳（推定）♂
クサガメ

性格や好きなこと
基本的にビビり
水槽の中でお腹が空いていると人に向かってくる。水槽から出すと部屋の隅に行く。
ご飯と日光浴、脱走が好き。

ご家族にインタビュー♪

町へのひとこと

4月から災害（中長期）派遣で愛知県幸田町から内灘町にお邪魔しています。
夏、愛知に帰ると内灘の風がいかに気持ちのいい風だったかを実感しました。
内灘からアクセスのいい場所への観光や登山、スキー、スノボを満喫させていただきます！



都築（つづき）　日向（ひゅうが）さん（左）
（大清台）

議員のひとこと

公共施設は町民共有の財産
計画的な改修を



夷藤（いとう） 満（みつる） 議員

夷藤
老朽化が進む公共施設を長期的な視点で管理し、建替を計画的に進めることが重要だ。更新、長寿命化、統廃合についてどのような考えか。

部長
内灘町公共施設等総合管理計画は今年度、改定作業を進めている。
既存の機能を維持しつつ、継続的な使用が可能となるよう、基本方針を定めていく。

夷藤
総合公園内の野球場や弓道場の改修は。



部長
体育施設も改修や更新の計画を見直していく。

夷藤
井戸を災害時の地域防災資源として活用しては。

町長
消防団第一分団格納庫敷地内に災害時に活用できる井戸を設置した。室・西荒屋公民館、北部保育所も同様に設置する方針だ。
施設更新等の機会を捉え、緊急時の水源確保に取り組んでいく。

先進事例を参考に、災害時協力井戸制度創設に向け、取り組んでいく。

#公共施設の計画的改修　#災害時の井戸活用

議員のひとこと

SNSでお金の話は
100％ウソ
わが町から特殊詐欺
の被害をゼロに！



福島（ふくしま） 誠一（せいいち） 議員

福島
創造的復興事業や町の魅力を高める事業が今後増えていく。町が明るく変わっていくプロセスを見える化することで、未来への期待感やワクワク感、町への誇りを持てるのでは。

町長
将来に夢や希望を持てる明るい未来に向けた施策の展開は重要。
先進自治体の手法を参考に進捗状況の見える化に努める。

福島
SNSによるロマンス詐欺、投資詐欺、警察官なりすましの手口など、特殊詐欺が急増。昨年、県内の特殊詐欺は被害件数、被害総額ともに過去最高。町民が被害者にも加害者にもならない対策を。

教育長
各小中学校、内灘高校では年齢に応じた指導や注意喚起を実施している。今後も警察と連携し、被害・加害防止の啓発や対策に努める。

部長
高齢者向けには警察からの講話などを行っている。



#公共事業にワクワク感　#事業プロセスの見える化
#特殊詐欺防止アプリ

QRを読み込むと、
Youtube動画をご視聴いただけます。

夷藤議員　福島議員

議員のひとこと

公民館の建替え時における地元負担の軽減できないか



磯貝（いそがい） 幸博（ゆきひろ） 議員

磯員：近年の建築費高騰に加え、地元負担金の重さが建替え要望の停滞要因となっていないか。負担を知らない住民も多い可能性がある。
建替の負担金は地区会員の減少や反対意見を招き、地域活力の低下や分断につながる懸念がある。

磯員：人口減少と役員の成り手不足が深刻な中、地区統廃合や公民館の集約による合理化が必要ではないか。

磯員：地元負担軽減策の検討も求められる。

磯員：地域再編のビジョンを示せ。

町長：一町会一公民館の体制による地域コミュニティの充実やきめ細やかな住民サービスが内灘町の特徴的な強みだ。
地区の統合を町が主導する考えはない。

町長：地区同士の協議により自発的に統合が進んだ場合は、公民館数が減る可能性はある。

町長：建替時の地元負担をなくす考えはない。



#地域再編　#公共施設の集約

議員のひとこと

復興公営住宅の申し込みはじまる。希望叶うように願う。



北川（きたがわ） 悦子（えつこ） 議員

北川：復興公営住宅の初期設備として網戸、エアコン、風呂はつくのか。

町長：網戸は設置予定、生活家電は入居者で準備が必要。風呂は自動お湯張り可能な給湯設備を設置する計画。

北川：転居時にボランティアを頼むことは可能か。費用も心配。

町長：町社会福祉協議会ボランティアセンターで、高齢者や要配慮者などへの継続的な支援を行っている。

町長：仮設住宅から復興公営住宅への転居時には、転居費用助成事業10万円と公営住宅入居助成事業10万円の、計20万円の助成事業が利用可能。

町長：復興公営住宅家賃は入居から3年間無償。

北川：復興公営住宅に集える場所の設置を。

町長：居住者が安心してくつろげる環境づくりを重視。共用スペースへのベンチ設置など、憩いの場としての活用に配慮し計画する。



#復興公営住宅　#社会福祉協議会
#ボランティアセンター

QRを読み込むと、
Youtube動画をご視聴いただけます。

磯員議員

北川議員

議員のひとこと

天災は忘れた頃にやってくる
人災と言われない備えを



中村（なかむら）　聡（さとし）議員

中村
指定避難場所等の設備及び物品の充実をはかれ。

町長
各地区の自主防災組織の連携を深め、地域の備蓄状況の情報共有を図る準備を進めている。防災備蓄倉庫の拠点整備を含め、新たな被害想定に基づく十分な備蓄量の確保に努める。

中村
在校生分の物資を学校空き教室等を利用し備蓄しては。

町長
搬入搬出の利便性や、管理面、安全面の観点から、学校での備蓄は難しい。

中村
手押しポンプの井戸を設置せよ。

部長
消防団第一分団格納庫敷地内に災害時に活用できる電動ポンプ式の井戸を設けた。災害時協力井戸の取組や公共施設更新等にあわせ、災害時に活用できる井戸設置を検討するなど、町民の安心のため取り組んでいく。

災害用手押しポンプは維持管理や安全面の課題があるため、調査研究していく。



大徳小学校
（金沢市）

#災害備蓄　#災害手押しポンプ

議員のひとこと

森本・富樫断層帯地震の被害を最小限にする備えを。



西尾（にしお）　雄次（ゆうじ）議員

西尾
今年7月に熊本県で再び大地震が発生。10年前の地震の影響を受けた断層帯が壊れて起きたと推定されている。

平松良浩金大教授（地震学）は能登半島地震の影響で森本・富樫断層帯地震の発生リスクも以前より高まっていると指摘している。

内灘町の被害は全壊・全焼2,100棟、死者90名、避難者8,300名と想定されているが、どのような認識か。

町長
決して他人事ではない。
復旧・復興に向け全力で取り組んでいるが、想定される災害に対し万全の対策を講じる必要がある。

西尾
専用の大型防災備蓄庫を検討する必要があるのではないか。

副町長
新たな被害想定に基づく十分な備蓄量の確保とともに、物資の保管スペースを確保するための新たな防災備蓄倉庫の拠点整備が必要だ。



防災備蓄庫を備えた船型遊具

#森本・富樫断層帯地震

QRを読み込むと、
Youtube動画をご視聴いただけます。

中村議員

西尾議員

議員のひとこと

9/13　H新聞
『社説【自治体窓口の時短】職員、住民双方に利点を』



清水（しみず）　文雄（ふみお）議員

清水
窓口受付時間を短縮し、職員が情報共有や業務改善に取り組む時間を確保して、より良い住民サービスにつなげる考えはないか。

町長
来年1月から窓口業務の受付時間を、午前9時～午後5時で試行し、検証しながら進めていく。

清水
白帆台地区への投票所設置、商業施設での期日前投票実施を進める考えはないか。

課長
人員確保が難しく、投票所の増設は現時点では考えていない。

人員確保に加え、二重投票防止のための情報セキュリティ対策の構築が必要。民間施設等での期日前投票所の開設は、引き続き調査研究していく。

清水
熱中症対策やプラスチックごみ削減のため、公共施設に給水スポットを設置しては。



部長
衛生・管理面の課題を踏まえ、導入の可能性を調査研究する。

#役場窓口の受付時間短縮　#投票率向上対策
#公共施設に給水スポット

議員のひとこと

避難所の良好な生活環境の確保が必要！



恩道（おんどう）　正博（まさひろ）議員

恩道
今年の夏は熊本地震、千葉・北陸地方の大雨で大きな被害が発生した。熊本地震では厳しい暑さの中、避難所の環境整備が求められた。
地域防災センターのホール空調設備設置に向けた進捗状況は。



地域防災センター（大根布）

町長
地元の一定負担を前提とし、防災拠点として十分に機能を発揮するため、国の制度を活用し、早急な設置に向け取り組んでいく。

恩道
本年4月から日勤救急隊を運用し、平日の日中のみ救急隊2隊体制で対応しているが、その成果は。

課長
4月から8月に救急要請が輻輳（ふくそう）した45件中21件を2隊目が対応した。現場到着が早くなり早期搬送に繋がった。

恩道
火災や救助活動も含めた今後の対策は。

部長
常時救急隊2隊体制が望ましい。人員の確保について検討し、計画的に体制の充実強化を図りたい。

#地域防災センター　#ホール空調設備
#救急隊2隊体制

QRを読み込むと、
Youtube動画をご視聴いただけます。

清水議員

恩道議員

突撃！街かどインタビュー

一石二鳥のごみ拾い

町の団体シリーズ㉚

早朝、両手にごみ袋を持って町内を走るランナーに出会いました。Tシャツの背中には“ごみ拾い中”の文字。
どうして彼は、ごみを拾いながら走るのでしょう。金沢医科大学プロギング同好会の出村和宏（でむらかずひろ）さんにお話を伺いました。

内灘町から世界へ　SDGsなプロギング活動



Q. 健康づくりやダイエットにも効果があるのですか。

走ったり歩いたりする途中に、ごみを拾う「ピック」や「ストップ＆ゴー」の動作が加わることで、太ももやお尻の筋肉が鍛えられます。消費カロリーはジョギングの1.2倍となり、ダイエット効果が高くなります。短い距離を走ったり歩いたり、ごみ袋一つあればいつでも手軽にできるんです。

Q. これからの活動予定は。

いろんな人に参加してもらえるように、GPSアート（お絵描きラン）などのイベントも企画して、活動を広げていきたいと思います。

これからも町の中をどんどん走っていきます。



Q. 町へひとこと

ごみは拾うよりも、出さないことが重要です。

子や孫の世代へ、きれいなまちを残していきましょう。

真っ黒に日焼けした出村さんの言葉が突き刺さりました。「一つでもごみを拾えば、あなたはHERO。がんばった自分をほめてあげましょう」と。皆さんもプロギング、始めてみませんか。

インタビュアー　**福島 誠一**

Q. なぜ走りながらごみを拾っているんですか。

プロギングをしています。自宅から職場まで約7kmの区間を走って通勤する途中、ごみを拾い、身体づくりと地球環境にもやさしい運動です。

金沢医科大学プロギング同好会の仲間とともに、内灘海岸清掃や河北潟クリーン作戦にも参加し、住民の皆さんとの交流も図っています。

Q. プロギングって何ですか。

ごみ拾い（Plocka Upp）とジョギング（Jogging）を組み合わせた、スウェーデン発祥のフィットネスです。通常の運動以上のカロリー消費があり、ストレス解消、社会貢献もできて、何とも言えない爽快感が味わえます。SDGsの多くの要素も念頭に置き、環境保全の一助とする活動でもあります。

編集後記

西荒屋公民館、北部保育所そして鶴ケ丘地区復興公営住宅の建設がはじまった。また一歩、復興が形となって姿がみえてきた。被災から2年10ケ月。暑い夏を耐え、身体も心も疲れたと漏らすひとこと。安心して住み続けられる場所を急ぐ必要がある。

毎月のように続く食品の値上がりに台所からは悲鳴が聞こえる。食べずにはいられない。AIに聞きたい。懐を減らさず満腹になる方法を。

人工知能の開発、能力向上が急速に進み、人間の制御を離れて暴走する事態となり問題となっている。いつの時代も、私たち人間を忘れないことが大切だ。

故中川議員の在りし日の大きな笑い声が、今も耳に残る。寂しさもあるが、これからも天上から、町の発展を見守っていただきたい。

（委員　北川　悦子）

広報対策特別委員会
委員長　中村　聡
副委員長　土屋　克之
委員　北川　悦子
委員　西尾　雄次
委員　福島　誠一

発行：内灘町議会　責任者：議長　七田 満男
〒920-0292　石川県河北郡内灘町字大学1丁目2-1
☎076-286-6715　FAX076-286-6711

VEGETABLE OIL INK
1部あたりの単価は45.00円です。